

横須賀美術館ウェブサイトリニューアル業務及び 保守管理業務委託仕様書

1 件名

横須賀美術館ウェブサイトリニューアル業務及び保守管理業務委託

2 業務の背景

横須賀美術館では、平成 19 年（2007 年）から公式ウェブサイトを開設し、情報発信を行ってきた。しかし、導入後 14 年を経過し、機能面・運用面ともに多くの課題を抱えている。

近年、スマートフォンやタブレットの急速な普及や、新型コロナウイルスの影響により、横須賀美術館公式ウェブサイトの利用形態が多様化しつつあることから、新たなニーズへの対応を求められている。また、昨今の災害等の状況を踏まえ、災害時にも滞りなくウェブサイトが更新できる機能も求められている。

3 業務内容

本業務は、現在使用している横須賀美術館公式ウェブサイトを、スマートフォンやタブレットの普及に伴う利用形態の多様化に対応させるとともに、コンテンツマネジメントシステム（以下、「CMS」という。）を採用し、情報を発信する側、見る側が使いやすく見やすいサイトとし、閲覧者の来訪を促し、また動画配信も含めた情報発信の機能強化を行う。加えて保守管理契約を行い、災害時にも即座に正確な情報発信ができるシステムを構築する。

ウェブサイトリニューアル業務にあたっては、次の 4 に掲げる現行の問題点の改善と目標を具体化するウェブサイトの再構築と美術館にふさわしいサイトデザインの制作を行う。横須賀美術館の求めに応じて作業の進捗を報告し、調整しながら作業すること。

保守管理業務にあたっては、現行の横須賀美術館ウェブサイトで利用している外部サーバを使用したうえで、システムの管理・点検等の保守を行うことを想定している。

4 ウェブサイトの現状と課題

- (1) 必要な情報が得にくく、新しい情報が目立たない構造のため、必要な情報が簡単に得られるような構造のサイトにする必要がある。
- (2) スマートフォン表示に対応していないため、スマートフォン専用に最適化されたサイトを用意する必要がある。
- (3) ウェブアクセシビリティ、ユーザビリティへの考慮が不足しているため、誰にでも使いやすいサイトにする必要がある。
- (4) 多言語化への対応が不十分なため、英語、中国語、韓国語等の言語に対応できるようにする必要がある。
- (5) HTML で作成しており、誰でも即座に更新できる状況にないため、コンテンツの作成・更新・管理等を容易に行えるようなサイトにする必要がある。
- (6) 災害時の対策ができていないため、停電等の緊急時にもサイトを更新できるようにする必要がある。

5 ウェブサイトリニューアルの基本方針

- (1) CMS を導入し、ウェブサイトの品質を向上させ、運用を正確に行う。
- (2) 閲覧者が必要としている基本情報やアクセスなどの情報に速やかに辿り着けるよう情報提供を行う。
- (3) 操作に一貫性があり、ユーザビリティ（有用性、使いやすさ）、アクセシビリティ（利用しやすさ）に配慮し、誰もが見やすく、使いやすいサイトを構築する。
- (4) 横須賀美術館のヴィジュアル・アイデンティティ（V. I.）に即したイメージのデザインで、横須賀美術館の魅力を効果的に伝えるとともに、アートや美術館に関心が高い層に対しても一定の満足度を与えるデザインとする。
- (5) 閲覧者等のニーズの多様化や高度化、情報発信の状況変化等、将来的に柔軟に対応できる。
- (6) コンテンツの作成・更新・管理が容易に行えると同時に、カスタマイズ経費や保守・運用経費が抑制できる。
- (7) ウェブサイトの構成にかかるデータセンター・ソフトウェアのセキュリティ対策が明らかになっており、インシデント発生の際の復旧、対策を示すことができること。
- (8) ウェブサイトを構成するソフトウェア等の脆弱性に関する情報を収集し、保守・運用において可用性・機密性を担保できる。

6 各種要件

(1) トップページデザイン

横須賀美術館のヴィジュアル・アイデンティティ（V. I.）に即し、閲覧者に魅力的な印象を与え、閲覧者が来館したくなるようなデザインであり、短時間で必要な情報への確に誘導するデザインであること。具体的には以下のような構成を想定している。

ア ヘッダ

ロゴを配置するなど、横須賀美術館のサイトであることが一目でわかるようなデザインであり、館のイメージとの統一性を持ったものであること。

イ ナビゲーション

展覧会、イベント、利用案内等、閲覧者にとって利用頻度の高い情報が見やすい位置に配置され、他の情報は必要に応じてコンパクトにメニューに配置されるなど、閲覧者にとって必要な情報がある場所が予測しやすく、ページに辿り着きやすい構成であること。

ウ キーヴィジュアル

開催中の展覧会や、発信したいイベント等の情報が魅力的に映り、来館・参加意欲が高まるようなデザインであること。

エ コンテンツ

新着情報やお知らせなどのトピックを掲載する箇所。

オ 関連リンク

レストランやショップ、地域・市内の観光施設など、関連サイトへのリンクを表示

する箇所。

カ SNS との連携

Twitter、Facebook、Instagram、YouTube 等の SNS とのリンク箇所であり、閲覧者の目に留まりやすい配置となっていること。

キ フッタ

サイトマップやポリシー、お問い合わせ等の情報を掲載する箇所。

(2) トップページ以外のデザイン

トップページのデザインとの統一性を持たせるものとするが、キービジュアルと関連リンクを外すなどの簡素な形式を想定している。ただし、展覧会、イベント等のページについては閲覧者にとって魅力的なものに映るようなページデザインを可能にするものであること。

(3) コンテンツ要件

現行コンテンツを整理した下表の内容を想定している。制作にあたっては必要な情報をスムーズに得られる構成にすること。コンテンツの新規提案があれば加えることも可とする。なお、画像、動画やテキストデータは、横須賀美術館が提供する。

| コ ン テ ン ツ 一 覧 | |
|---------------|---|
| トップページ | 美術館の外観・内観画像、展覧会等の画像を用い、目を引くヴィジュアルにする。各ページへのリンクを集約。開館情報など、閲覧者が求める概要情報を全ページ上部に分かりやすく配置。 |
| 展覧会 | 展覧会情報（企画展、所蔵品展、谷内六郎館） 開催中・次回予告、過去の開催情報（アーカイブ） |
| イベント | 募集中のイベント情報、過去の開催情報（リスト） |
| 学校団体鑑賞 | 団体申込方法・アートカード |
| 美術館概要 | 美術館施設、美術館の特色、美術館の沿革、ロゴマーク |
| 英語＋多言語 | 概要情報、展覧会情報の外国語訳（英語については横須賀美術館側がデータ提供を行う） |
| 所蔵品作品 | 収集方針、所蔵作品紹介、所蔵作品検索 |
| ボランティア | 活動内容、過去のイベント |
| 谷内六郎館 | 作品・作家紹介、施設概要 |
| 図書室 | 図書室利用案内 |
| 利用交通案内 | 利用案内、交通案内、施設概要、FAQ |
| レストラン | レストラン紹介、リンク |
| ミュージアムショップ | 図録紹介、リンク |
| Web で楽しむ美術館 | 各種オンラインコンテンツ |
| メディアの追加 | テキスト以外にも画像や動画を掲載できる仕様にする |
| SNS 等のリンク一覧 | Twitter、Facebook、Instagram、YouTube など |
| リンク集 | 横須賀市、関連施設、地域・市内の観光施設 |
| お問い合わせフォーム | 教育普及プログラムやイベント参加申し込み、美術館への問合せ |
| カレンダー | 開館日、休館日、イベント開催など |
| 美術館評価制度 | 会議録、評価報告書 |

(4) CMS 機能要件

- ア 職員によるコンテンツ管理を容易にするため、テキストの入力やファイルの添付（PDF、画像、動画など）が容易で、簡単にページを更新できること。
- イ 編集画面から公開後の画面をイメージでき、直感的な操作ができること。
- ウ ページの種類によってテンプレートを使い分けられるよう統一されたイメージのテンプレートを複数持つこと。
- エ ページを複製する機能があること。
- オ 作成したページの公開日時の設定ができること。
- カ SEO 対策に関連した機能を有すること。
- キ スマートフォンに対応し、閲覧者の端末のレスポンスデザインであること。
- ク SNS との連携や、YouTube 動画、google マップの埋め込み機能があること。
- ケ イベント申込、問い合わせ、アンケート等フォーム作成・管理機能があること。
- コ アクセス解析機能があること。
- サ アクセシビリティへの対応として最新 JIS X 8341-3:2016 に準拠していること。
- シ 外部の無料翻訳サービスを利用した多言語対応機能があること。
- ス 災害時等に簡易な操作でトップページの切替を行うことができること。緊急情報がトップページに目立つ形で表示することができること。

(5) システム要件

- ア 当美術館が運用中のサイトで使用しているドメインを継続して使用する。
- イ 当美術館指定のレンタルサーバで動作することを前提とすること。他のサーバを使用する場合はあらかじめ承認をえること。

(6) 移行要件

- 旧システムからのデータ移行は、安全かつ作業負担を低く抑えた方法で行うこと。

(7) 情報セキュリティ対策

- ア コンテンツのバックアップを可能とすること。
- イ CMS については定期的なデータバックアップが自動で行われること。また、使用者認証を行い、簡易で強固なセキュリティ対策を講じること。
- ウ 外部第三者からの侵入、書き換え等の行為が行われないよう、十分なセキュリティを確保し、ウィルス対策に十分な配慮を講じること。
- エ ウェブサイトの全てのページを常時 SSL 化されたものとする。
- オ システム、ハードウェア、ソフトウェアについて、受託者の経験上、起こりうる問題について事前に説明誘導し、必要に応じ適切な対応をすること。また、ソフトウェアのバージョンアップ等についても、対応できるようにすること。
- カ 受託業者はシステム導入後も担当者を定めて、以上のように運用管理者が対応不可能なものが発生した場合に要求があれば速やかに支援を行うこと。

7 納品成果物

- (1) デザインガイドライン、運用ガイドライン一式
- (2) デザイン及び CMS テンプレート及びウェブサイトデータと付随するデータ一式
- (3) 次回ホームページ更新時に必要な設計書一式（本市と受託者で合意した要件定義書等）
- (4) CMS の操作マニュアル

8 保守・サポート

ウェブサイトリニューアルと以降の運用に係る保守・サポート費用については、別々に契約を締結することとする。そのため、令和 4 年 2 月以降の 5 年分（令和 4 年 2 月から令和 9 年 1 月まで）の費用内訳書を提出すること。

※ なお、令和 4 年 4 月以降の保守契約については本市議会において当該年度の予算が承認され、かつ双方合意のある場合に限り、単年度ごとに契約するものとする。

- (1) 保守費用は、システム及びハードウェアの保守（サーバ維持管理費、システム管理費、定期点検等）、CMS サポート、運用サポートとする。
- (2) 受託者が毎月 2 時間程度、更新作業、システム運用、各種メンテナンスを行うことを想定している。当該運用サポートに関する経費も保守費用に含むものとする。
- (3) サーバダウン等の緊急事態には 24 時間体制で復旧を行える体制であること。
- (4) インターネット回線使用料、ドメイン維持管理費、令和 4 年 2 月からのホスティング料金（サーバー費用）は保守経費から除き、その見積書を提出すること。

9 その他

- (1) 美術館ウェブサイトの作成、運用、管理を一元的に行うシステムの構築及び CMS の構築など必要な設定を行い、利用可能な状態にして引き渡すこと。
- (2) 納品後の不具合については、引き渡し後においても責任を持って対応すること。
- (3) ウェブサイト開設準備にあたり知りえた情報について、第三者に漏らさないこと。
- (4) 本業務の実施にあたっては専任のウェブデザイナー等を立て、事前に十分な協議を行い、必ず承認を受けた上で実施すること。
- (5) 操作方法についての研修会を行うこと。
- (6) その他仕様書に定めること以外は、必要に応じて調整を行うこと。

事務担当 横須賀美術館広報係 小川、八島
電話 046-845-1211/FAX 046-845-1215